

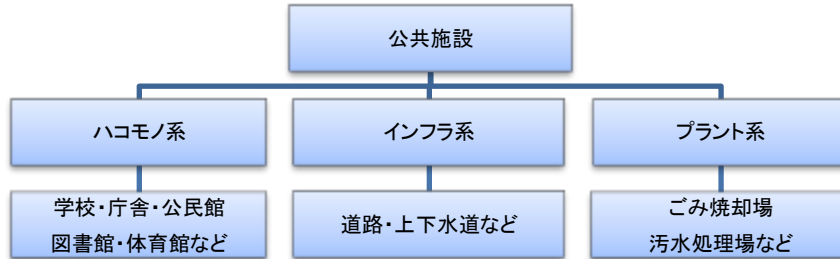
一からわかる再配置



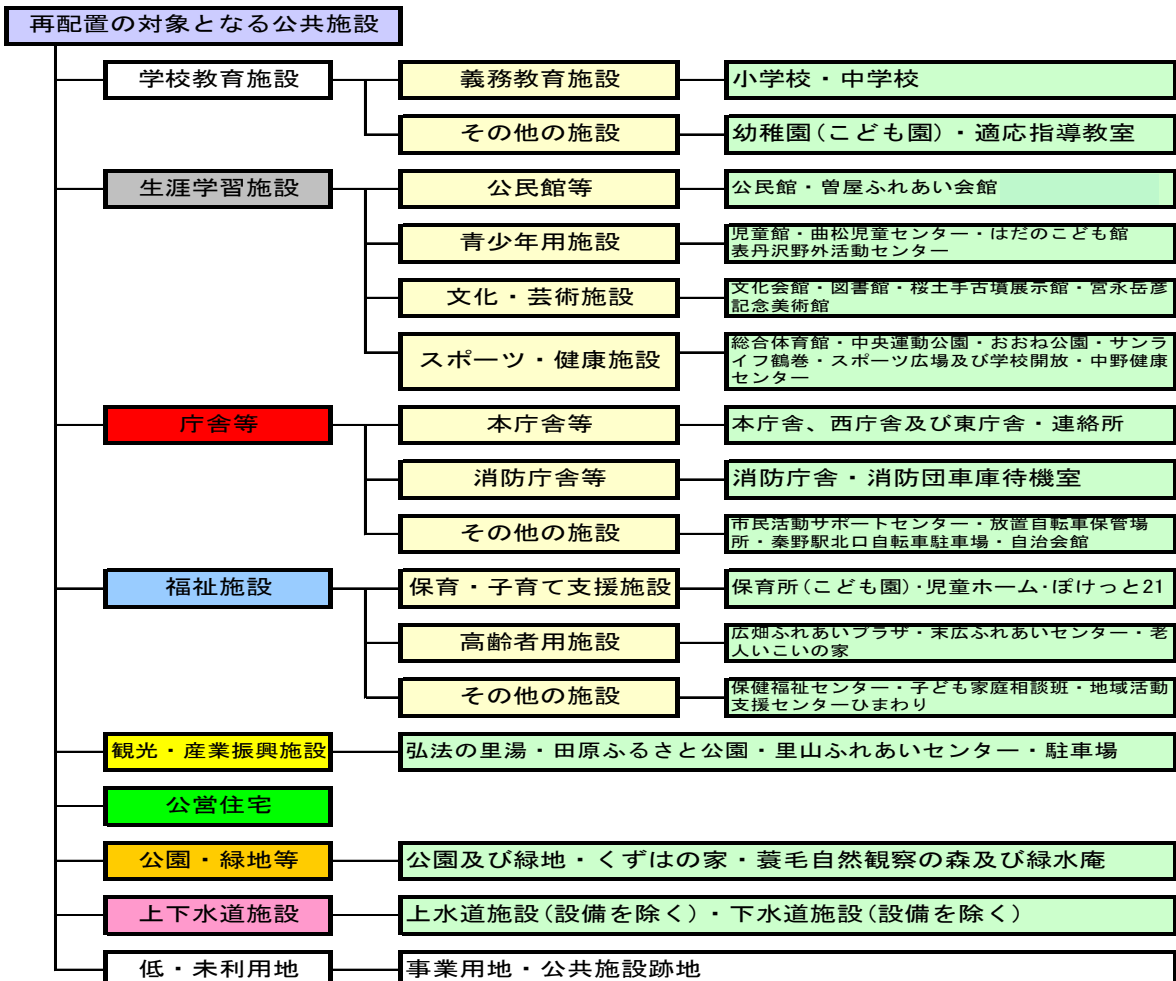
公共施設の再配置に関連する基本的な情報をお知らせします。

何を再配置するのか

「公共施設」には、市役所、学校、公民館等の「ハコモノ」のほか、道路や上下水道等の「インフラ」、ごみ焼却場等の「プラント」があります。



本市では、これらの公共施設のうち、「ハコモノ系」を中心に「秦野市公共施設白書」を作成して現状を把握したうえで、「秦野市公共施設の再配置に関する方針」及び「秦野市公共施設再配置計画」に基づき、次の施設を対象に再配置を進めていくこととしています。



どれだけ再配置するのか

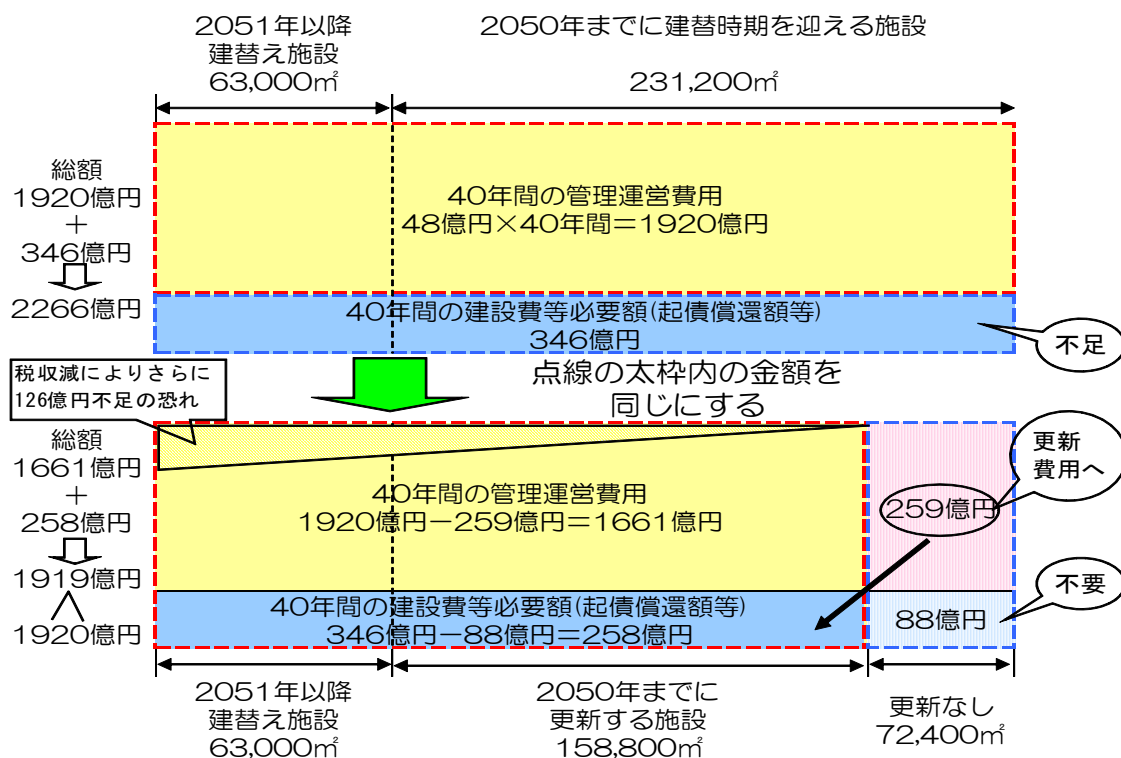
現在、本市のハコモノの維持管理等に係る費用は、年間約 48 億円^{※1}で、40 年分では 1,920 億円。ハコモノをそのまま維持しようとする、40 年間でさらに 346 億円の更新費用が必要になることは先に述べたとおりです^{※2}。

この新たな負担を「不足」と考えると、この不足が生じない数値までハコモノの総面積を減らして、浮いた管理運営費用を建設費用の不足に充てれば、残りは今と同じ負担で維持することができます。

つまり、72,400 m²、現在の総面積の 31.3%を減らすということです。

※1 平成 19 年度決算に基づく一般会計からの負担分のうち、使用料等の額を除いた額

※2 Vol.1 参照



秦野市だけではありません

これまで視察等で交流のあった自治体のうち、いくつかの例をみると…

- ・ねぎで有名な埼玉のあの市・・・必要な削減割合 32. 2%
- ・日本の標準時で有名なあの市・・・ // 35. 5%
- ・忍者ハットリくんのお出身地・・・ // 38. 4%
- ・砂丘で有名なあの市・・・ // 43. 2%
- ・水に浮かぶ神社のあるあの市・・・ // 48. 4%

地方自治体公民連携研究財団志村客員研究員試算

全国で同じように公共施設が集中的に整備され、やはり同じように（秦野市以上に）解決しなければならない問題を抱えているのです。

